

多様な教育課題に対する体制づくり
 ～ 一人一人のニーズに応じた支援に向けて ～
 プロジェクトチーム 検討状況説明用資料

1 議題の構造等

(1) 平成29年度総合教育会議で示した課題とその解決策

議題「多様な教育課題に対する体制づくり～一人一人のニーズに応じた支援に向けて～」は、複合的な課題の解決を図り、あきる野市教育基本計画（第2次計画）の3つの重点施策（いじめ・不登校0（ゼロ）への挑戦、学力向上対策の強化、特別支援教育の推進）を推進するものとされている。

プロジェクトチームにおける検討を進めるに当たり、教育委員会から、現行の体制を次のように改める解決案が提示された（変更か所を下線にて表示）。

<現行>

本庁舎（別館）	五日市出張所	あきる野ルピア
<ul style="list-style-type: none"> ・せせらぎ教室 ・教育相談所 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教職員研修センター</u> ・教育相談所 	

<解決案1>

本庁舎（別館）	五日市出張所	あきる野ルピア
<ul style="list-style-type: none"> ・せせらぎ教室 ・教育相談所 ・<u>教職員研修センター</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談所 ・<u>せせらぎ教室（五日市分室）</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教育相談所</u>

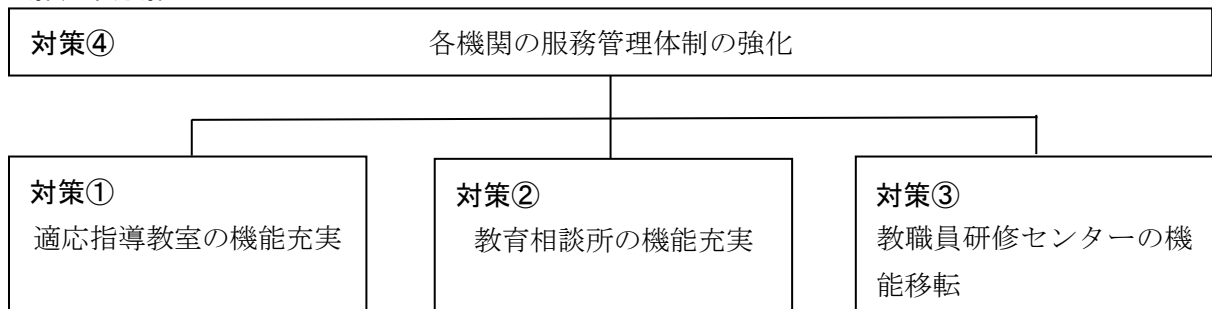
<解決案2>

本庁舎（別館）	五日市出張所	あきる野ルピア
<ul style="list-style-type: none"> ・せせらぎ教室 ・教育相談所 ・<u>教職員研修センター</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談所 ・<u>せせらぎ教室（五日市分室）</u> 	

(2) 解決案の分解等

一方、プロジェクトチーム会議においては、総合的な解決を図るに当たり、課題の抽出を行うため、上記の解決案を4つの個別の対策に分解し、検討を行うこととした。また、各対策の検討に当たっては、それぞれの適応指導教室、教育相談所、教職員研修センターそれぞれの概要を把握するとともに、必要に応じて現地視察を行った。

<解決策分解のイメージ>



2 各機関の概要

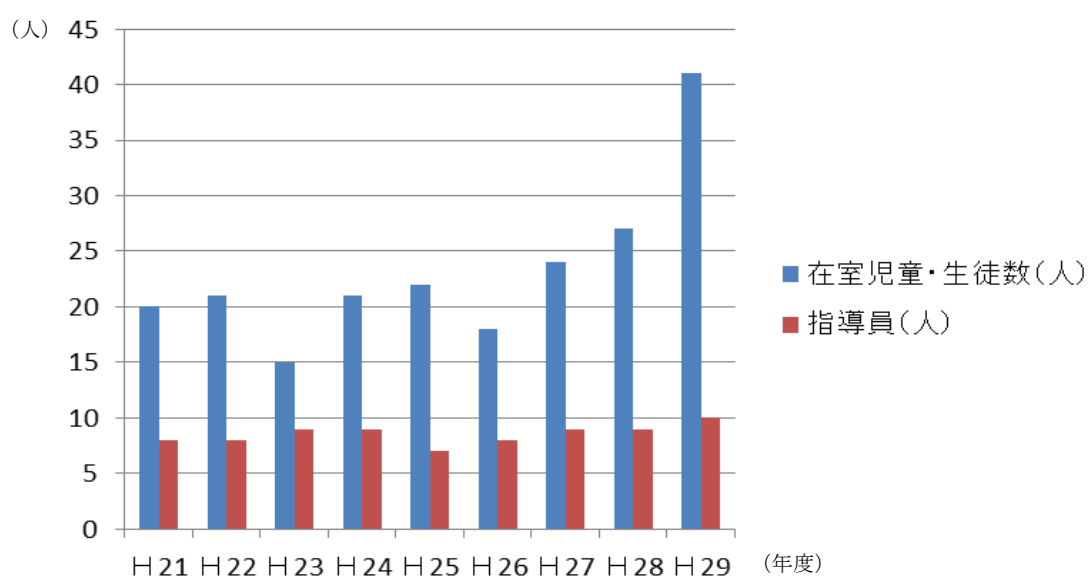
(1) 適応指導教室（せせらぎ教室）

① 概要

様々な理由で学校生活に不安を感じ、登校することができない状態の児童・生徒に対して、学習指導などを行いながら、学校に戻るための手助けをするために設置された機関のこと。本市では、「せせらぎ教室」と称している。

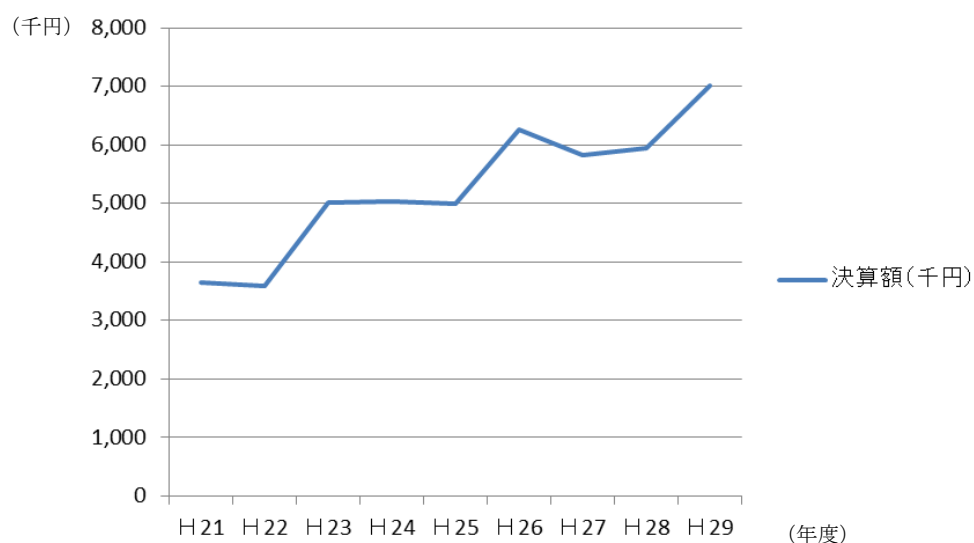
② 在室児童・生徒数、指導員数の推移

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
在室児童・生徒数(人)	20	21	15	21	22	18	24	27	41
指導員(人)	8	8	9	9	7	8	9	9	10



③ 決算額の推移

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
決算額(千円)	3,651	3,587	5,012	5,034	5,002	6,268	5,822	5,947	7,020



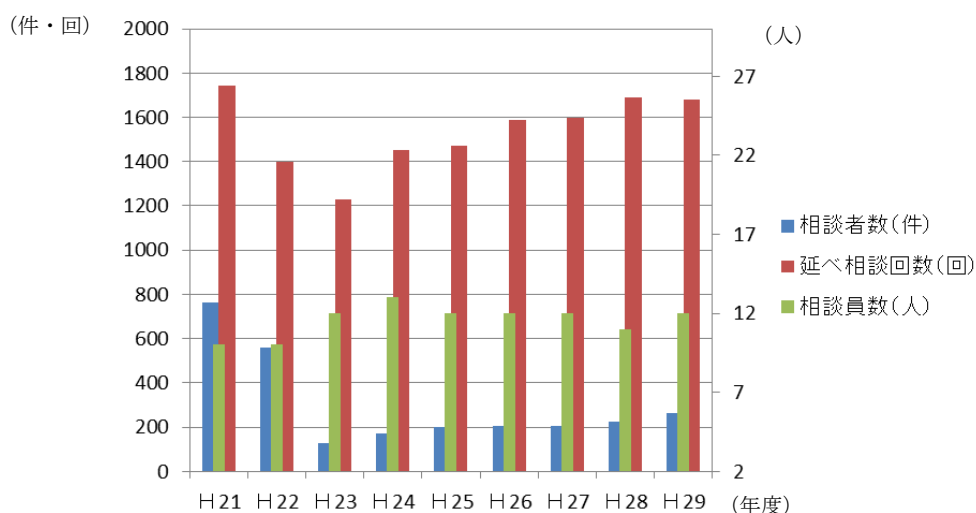
(2) 教育相談所

① 概要

教育相談員及び心理の専門家である臨床心理士が相談業務を行う、市役所別館と五日市出張所の2か所にある機関のこと。子どもの発達や成長、集団不適応、学習の遅れ等の悩み事の解消に向けて当該幼児・児童・生徒及びその保護者の相談に応じている。また、児童・生徒の発達の状況を確認するための検査も行うとともに、就学先の決定や特別支援教室への入室の適否の審査についてもかかわっている。さらに、市役所別館の教育相談所においては、幼稚園・保育所、小中学校の要請に基づき、臨床心理士等による巡回相談も行っている。

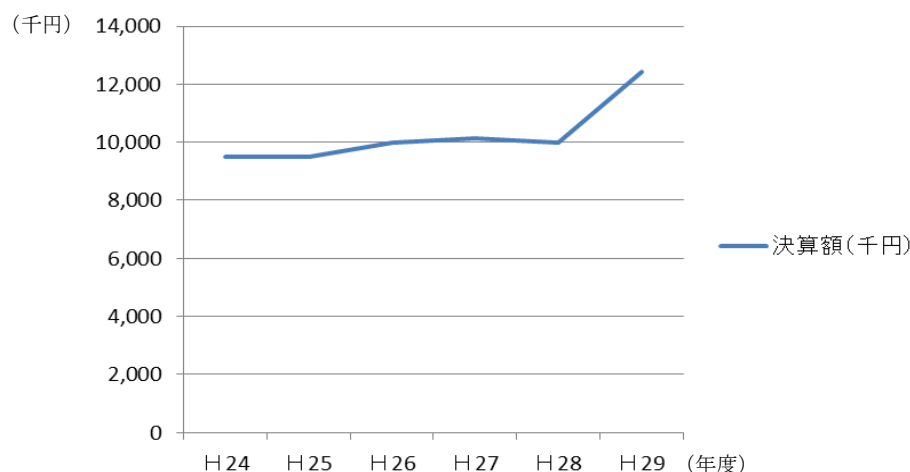
② 相談者数、延べ相談回数、相談員数の推移

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
相談者数(件)	761	558	128	171	200	204	203	226	264
延べ相談回数(回)	1,742	1,397	1,230	1,454	1,472	1,586	1,596	1,691	1,680
相談員数(人)	10	10	12	13	12	12	12	11	12



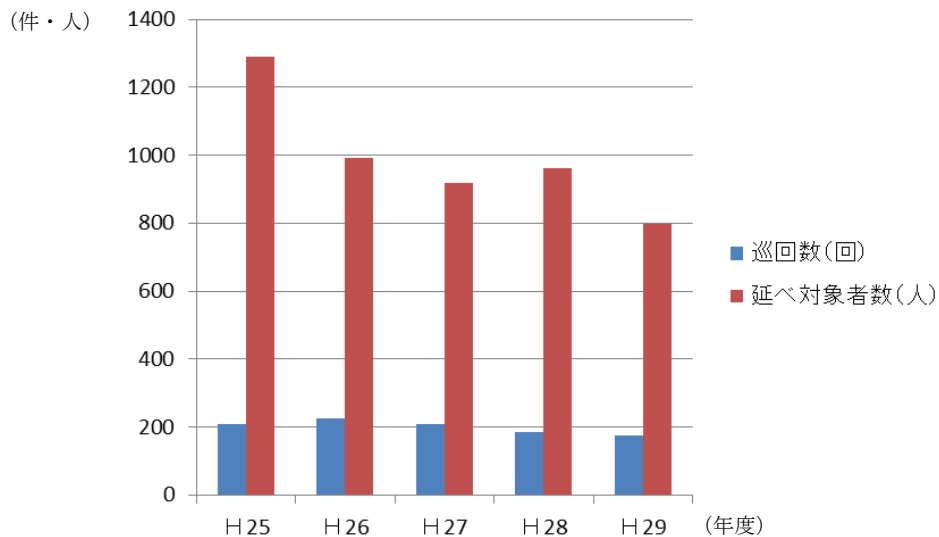
③ 教育相談所に係る決算額の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
決算額(千円)	9,507	9,506	9,997	10,139	9,976	12,441



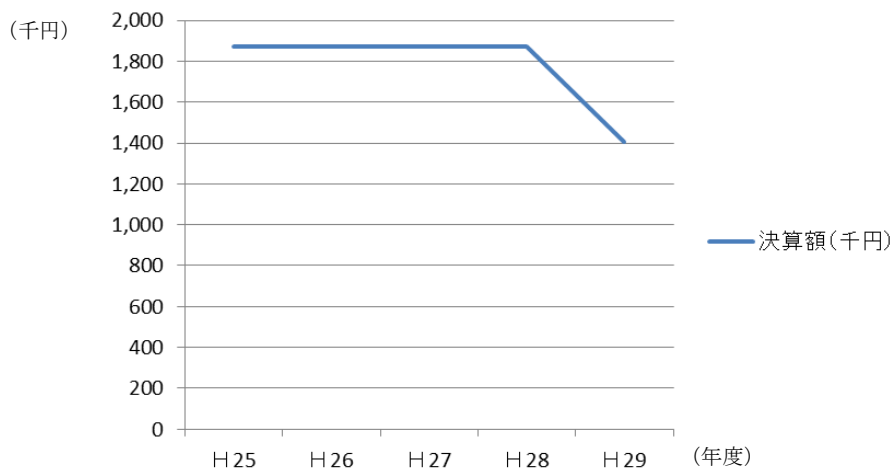
④ 巡回相談の件数、延べ対象者数

年度	H25	H26	H27	H28	H29
巡回数(回)	210	226	208	186	176
延べ対象者数(人)	1,291	991	920	963	797



⑤ 巡回指導員に対する報酬

年度	H25	H26	H27	H28	H29
決算額(千円)	1,872	1,872	1,872	1,872	1,404



※ 巡回指導員の巡回数及び延べ対象者数の減少の理由の1つは、平成28年度は小学校5校、平成29年度は小学校10校に、特別支援教室が導入され、各校年間30時間（4月と8月と12月または3月を除く月1回程度、1回4時間程度）東京都の巡回指導員が派遣されるようになったためである。平成31年度からは、中学校にも特別支援教室が導入されることから、同様に東京都に臨床心理士が派遣される予定である。

※ 一方で平成29年度は、臨床心理士の欠員が出たことも執行予算額が減った理由である。欠員補充の募集を行ったが、臨床心理士の需要が高く、補充ができなかった。このため、東京都の臨床心理士の訪問を待つことになり、学校の要望に対し柔軟には応えられなかった。

(3) 教職員研修センター

① 概要

あきる野市における学校教育の現状と課題を踏まえ、年次や職層に応じた教員を育成するための機関のこと。特に指導員は、若手教員育成研修、小学校第1学年の学校適応状況等の指導を実施している。

若手教員の育成に当たっては、本市の教員400人のうち、約4分の1が新任であることを踏まえ、1年次から4年次までの教職員を対象としている。実際の指導に当たっては、1年次から3年次までを1学期に1回ずつ、4年次は年間1回学校を訪ね、対象者の授業を参観し、必要な指導等を行っている。

また、学校管理職からの要請や指導室主催の研修会の教科別の講師、職層別の研修の講師として招聘することもある。

② その他

当時、「教育の拠点を五日市地区に置く」という強い意志があったため、その施策の一つとして教職員研修センターが現在の五日市出張所に配置されたという経緯がある。